

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年11月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年11月1日～11月30日）

○調査期間：令和5年12月1日～令和5年12月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業17企業、卸売業12企業、小売業18企業

飲食業10企業、サービス業35企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計112企業>

○調査項目：11月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラス幅が縮小し、水準DIはマイナス幅が拡大した

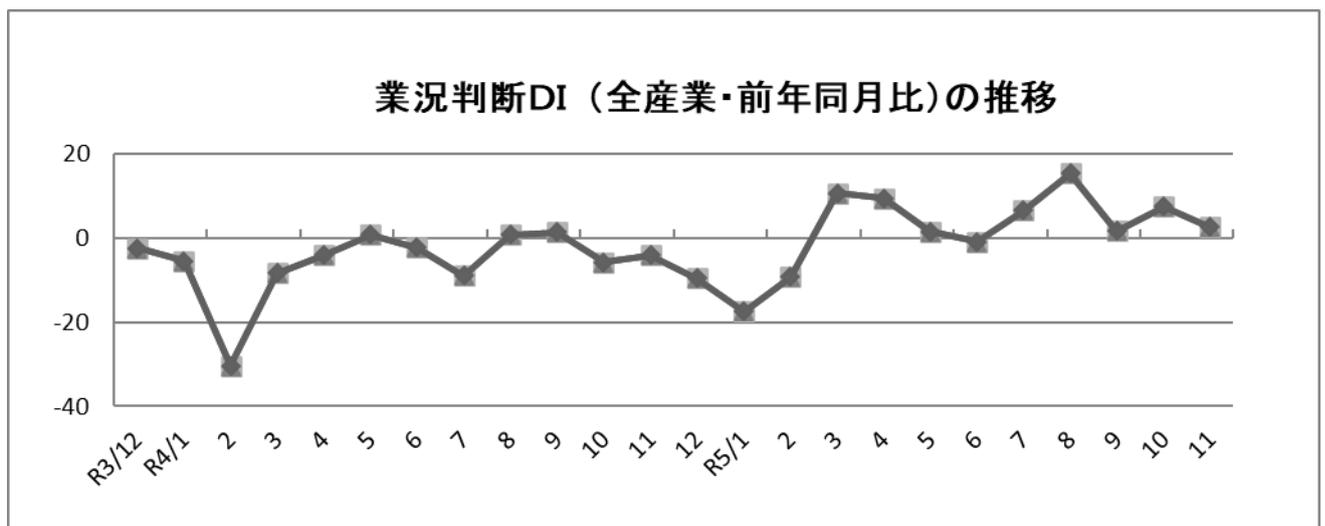
1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(7.5)より4.9ポイント下降し、2.6となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラス幅が縮小した。製造業はマイナスから0に転じ、建設業・卸売業・小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲1.7)より1.9ポイント下降し、▲3.6になった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラス幅が縮小した。製造業はマイナスから0に転じ、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業・小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	21.4 (24.0)	59.8 (59.5)	18.8 (16.5)	↘ 2.6 (7.5)	20.5 (19.8)	55.4 (58.7)	24.1 (21.5)	↘ ▲3.6 (▲1.7)
建設業	5.0 (5.9)	80.0 (82.3)	15.0 (11.8)	↘ ▲10.0 (▲5.9)	5.0 (5.9)	80.0 (82.3)	15.0 (11.8)	↘ ▲10.0 (▲5.9)
製造業	17.6 (16.7)	64.8 (61.1)	17.6 (22.2)	↗ 0.0 (▲5.5)	23.5 (11.1)	53.0 (61.1)	23.5 (27.8)	↗ 0.0 (▲16.7)
卸売業	8.3 (27.3)	66.7 (36.3)	25.0 (36.4)	↘ ▲16.7 (▲9.1)	16.7 (18.2)	58.3 (36.3)	25.0 (45.5)	↗ ▲8.3 (▲27.3)
小売業	16.7 (14.3)	50.0 (66.7)	33.3 (19.0)	↘ ▲16.6 (▲4.7)	16.7 (19.0)	38.9 (52.4)	44.4 (28.6)	↘ ▲27.7 (▲9.6)
飲食業	70.0 (64.3)	10.0 (28.6)	20.0 (7.1)	↘ 50.0 (57.2)	50.0 (50.0)	20.0 (42.9)	30.0 (7.1)	↘ 20.0 (42.9)
サービス業	25.7 (25.0)	62.9 (62.5)	11.4 (12.5)	↗ 14.3 (12.5)	22.9 (20.0)	60.0 (62.5)	17.1 (17.5)	↗ 5.8 (2.5)

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

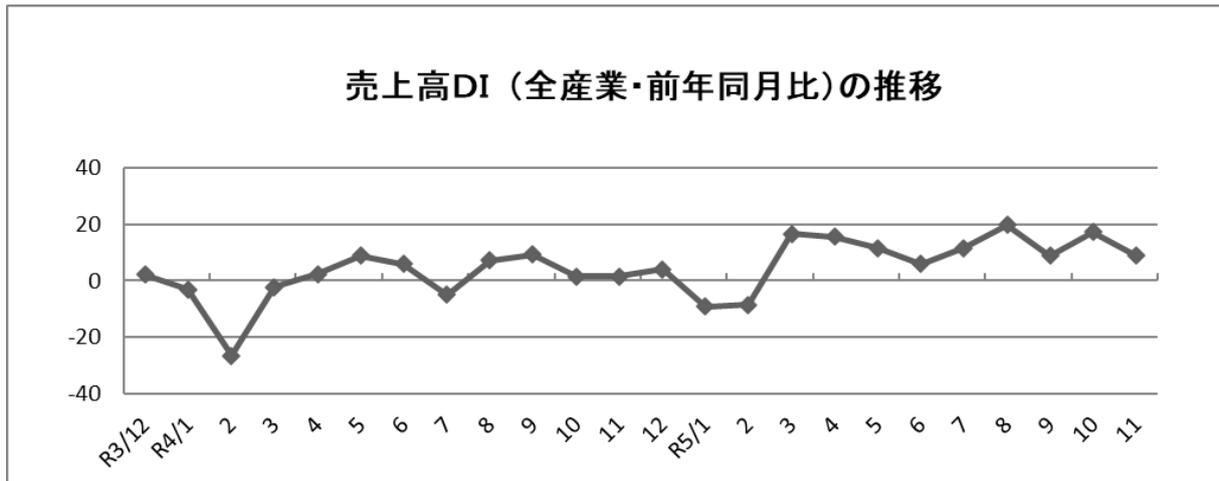


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(17.3)より8.3ポイント下降して、9.0となった。業種別に見ると、サービス業・製造業・飲食業はプラス幅が縮小した。建設業・卸売業はマイナスから0へ転じ、小売業はプラスからマイナスへ転じた。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全体	1.6	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0
建設業	5.0	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0
製造業	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9
卸売業	27.3	16.7	22	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9	▲8.3	▲9.1	0.0
小売業	4.8	4.2	▲39	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7
飲食業	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0
サービス業	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0	37	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0

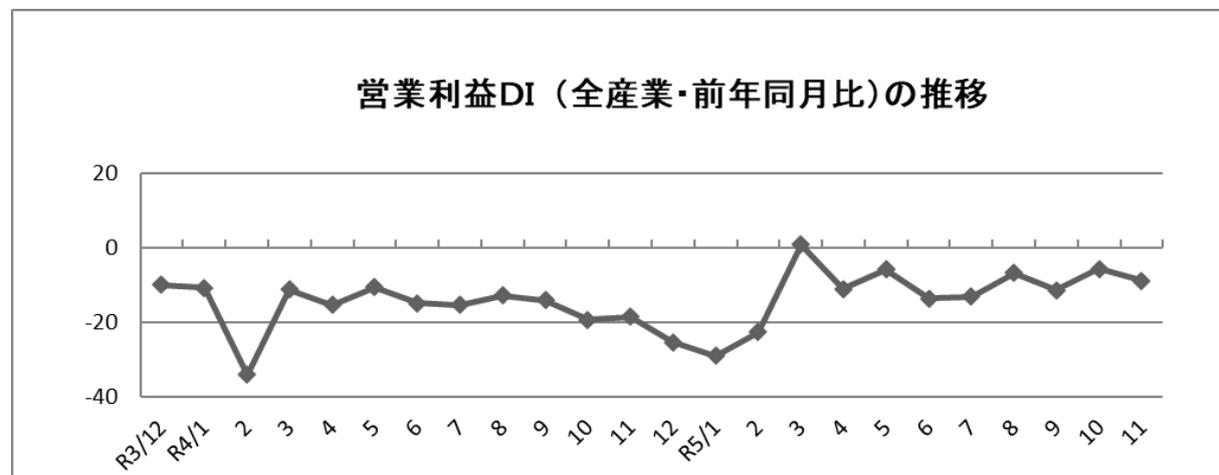


3. 営業利益DI（前年同月比）

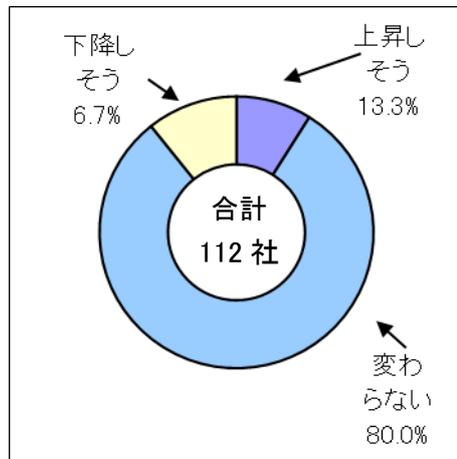
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲5.8)より3.1ポイント下降して、▲8.9となった。サービス業はプラス幅が縮小し、飲食業はプラスからマイナスへ転じた。建設業・卸売業はマイナス幅が縮小し、製造業・小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全体	▲18.5	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8	▲11.2	▲5.9	▲13.6	▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9
建設業	▲10.0	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0
製造業	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5
卸売業	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0
小売業	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2
飲食業	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0
サービス業	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11	7.5	10.5	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4

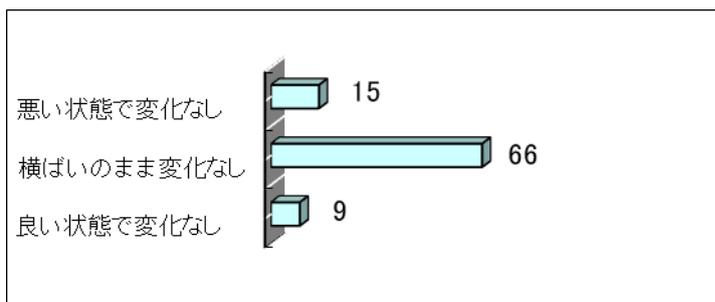


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年12月～令和6年2月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.4ポイント増え13.3%、「下降しそう」が3.2ポイント減り6.7%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲5.8)、卸売業(0.0)、小売業(▲5.6)、飲食業(0.0)、サービス業(0.0)であった。

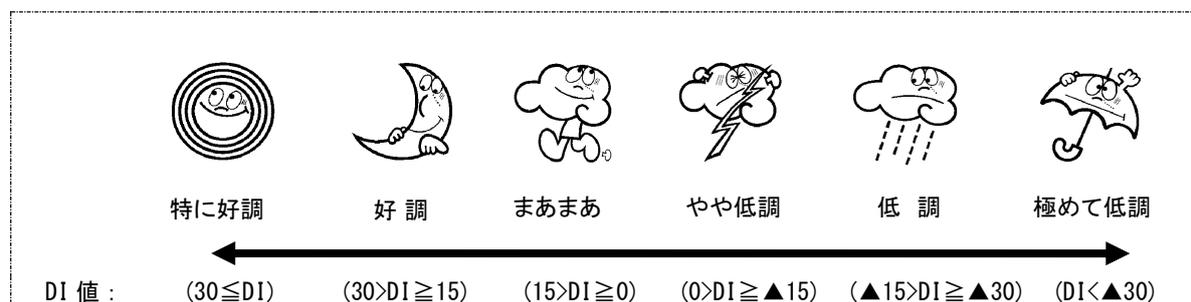
➡「上昇しそう」では「上半期の営業成績が上向きであるため。営業体制強化で好結果を期待したい。」(建設業)「航空関連の復調と防衛・宇宙関連の伸長のため」「値上げ前の駆け込み受注に伴う増産開始のため」(製造業)「顧客が設備投資を行うため」(卸売業)「年末年始、入学、就職等で期待が持てるため」「冬期はクリスマスや年末年始、バレンタインデーなどイベントが多いため」(小売業)「団体のお客様の需要も回復傾向にあるため」(飲食)「11月は風呂工事のため営業を休止していたが12月中旬から再稼働するため」「設備投資による業務拡大のため」(サービス業)といった声が寄せられた。



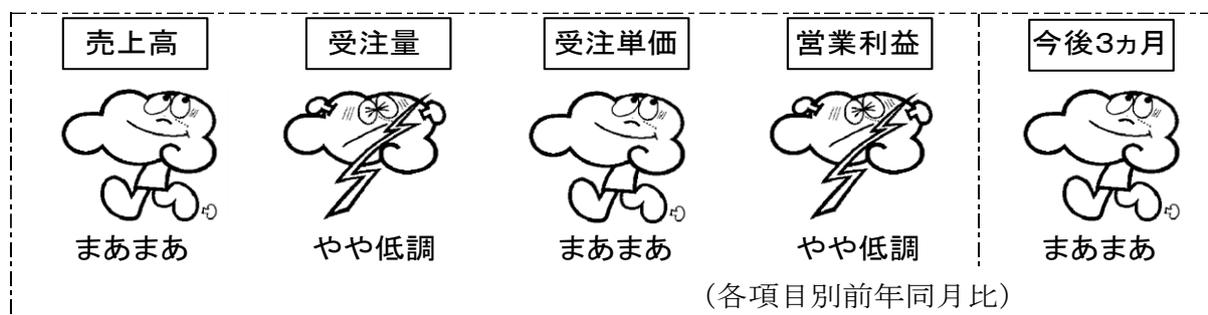
➡「下降しそう」では「受注がないため」(建設業)「冬期は閑散期」「在庫の減少」「1月・2月の売上が減少するため」(製造業)「寒さや雪などの天候悪化による来店客減のため。年末年始前の買い控えのため」「新車が間に合わないため」(小売業)「天候次第のため」(飲食業)「観光シーズンオフのため」「職業訓練受講者数が減少しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0
受注量	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0
受注単価	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0
営業利益	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0
見通し	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・建設業界は人手不足感が非常に強く、多くの人が危機感を感じているが具体的な対策を考え、実行しようとしている人は少ない。
- ・市況は変わらずである。新年会や賀詞交歓会はコロナ禍前に戻ってきたと感じる。
- ・年内は忙しい。

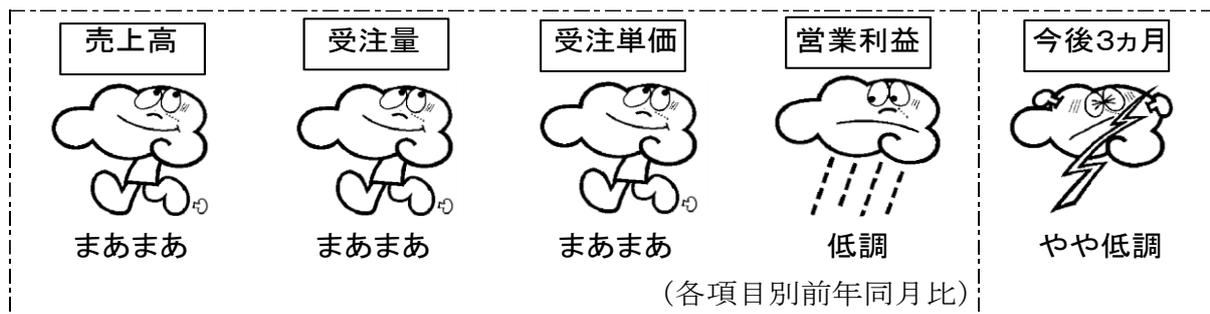
土木工事

- ・土木関係は受注量が概ね順調と思われる。資材高騰も一段落したと思う。

電気工事

- ・材料、資材仕入等に困った状況が出てきた。大阪万博開催関連の現場へ優先的に回ってしまい、不足に陥る可能性がある。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9
受注量	▲5.0	▲16.6	▲27.8	▲11.7	▲5.0	5.0	5.6	5.3	▲5.3	5.5	0.0	0.0	0.0
受注単価	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲6.7	16.7	0.0
営業利益	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5
見通し	▲5.0	▲27.7	22.2	0.0	▲25.0	▲15.0	5.5	▲15.8	▲5.2	16.6	0.0	16.6	▲5.8

<経営者の目・見方・e t c >

印刷

- ・物資高騰に伴い価格転嫁ができて一括請求ではなく、分割請求を求められる機会が増加した。この状況が続く限り、担当者が変わった際の確認間違いなどによる委託業務のデフレ問題が発生しかねない。分割請求ではなく、枚数と単価と仕事内容に整合性が担保されて、業務としてもサステナブルな一括請求の方向へ速やかな移行が望まれる。

食品・飲食

- ・輸入原料の上昇が続いている。

小型情報機器組立

- ・どの業種も悪くなっている。

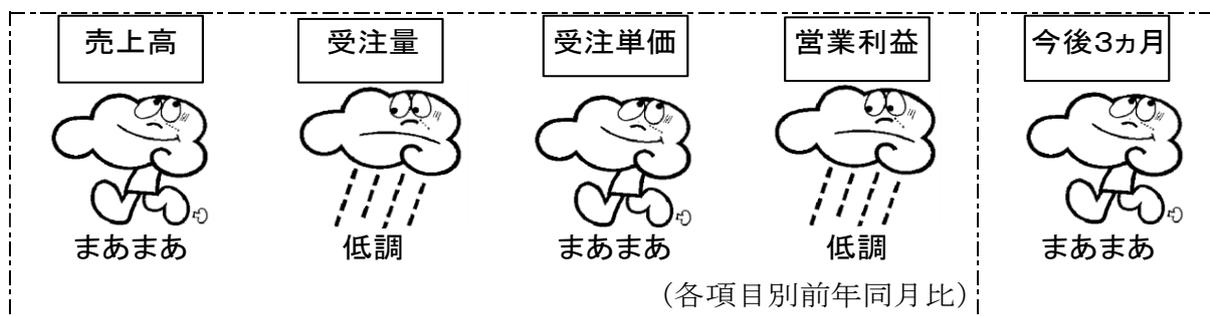
上下水道用給水装置

- ・4月より業界全体で3回目の値上げ予定である。

金属塗装

- ・塗装の受注が能力以上にあり、納期管理に困っている。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0
販売客数	▲9.1	0.0	0.0	▲7.7	11.1	▲25.0	▲10.0	12.5	▲8.4	▲18.2	▲25.0	▲27.3	▲16.7
販売客単価	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0
営業利益	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0
見通し	▲18.2	▲16.7	0.0	▲7.7	0.0	12.5	▲10.0	0.0	0.0	▲9.1	▲33.3	▲18.2	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 魚介類
 - 青果卸小売業
 - 自転車

 - 土産品
 - 業務用食品
 - 金属製品

 - 製菓材料卸売
 - 木材・建材
- ・法人の忘新年会も復活して、飲食業への好影響が期待できる。
 - ・野菜価格の変動が激しく利幅が少ない。
 - ・暖かい日があったが、寒くなるにつれスタッドレスタイヤが出始めた。メーカーの生産数が減っていて今後欠品が予想される。自転車は修理が多く、新車販売は少ない状況である。人手不足、物価上昇で人件費が上がっている。人件費上昇に対する補助金など対策はないのだろうか。
 - ・紅葉シーズンの11月、多くの観光地は賑わい、消費も活発であった。
 - ・商品の価格改定が年明けもあり粗利率対策が続く。
 - ・建築案件の大型プロジェクトの話はあるが、足元では産機・建機同様にパツとしない状況である。高炉メーカーは依然値上げに対し強気な姿勢を崩していない。
 - ・原材料の値上げに売価が追いついていない。
 - ・建設関連業種の倒産が散見されている。業界内の統合、再編も注視が必要となっている。

4. 小売業



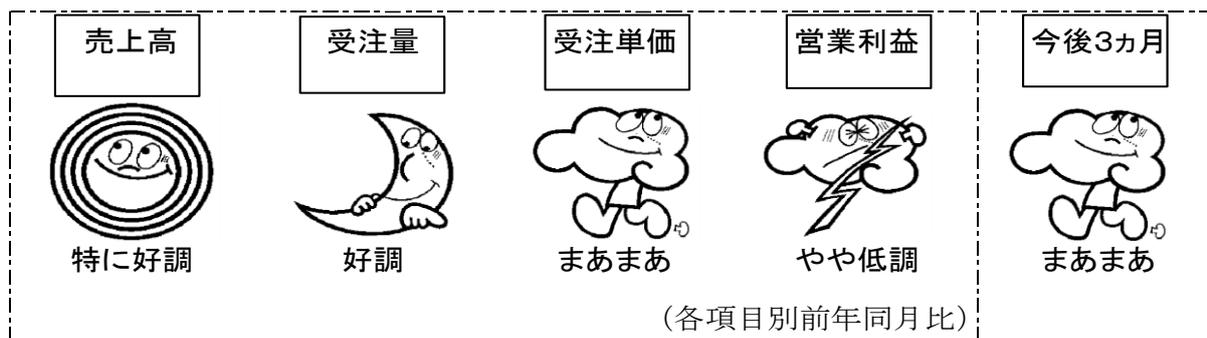
【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7
販売客数	▲4.8	▲4.1	▲39.1	0.0	4.4	▲9.5	17.4	▲9.1	4.1	20.0	▲20.0	9.6	▲5.6
販売客単価	0.0	12.5	▲26.1	13.6	0.0	▲19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲10.0	▲14.3	▲5.6
営業利益	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2
見通し	9.5	▲16.6	▲8.7	0.0	17.4	▲4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲19.0	▲5.6

<経営者の目・見方・e t c>

- 印章
 - 洋菓子店
 - 印章・刃物研ぎ
 - 生鮮食品
- ・上高地の閉山とともに外国人ツアーがほとんどなくなった。一方で街中は観光客含めて、コロナ禍前より人出が多いと感じる。
 - ・業界全体で悪いと思う。松本城の周りではインバウンドが良いと思う。材料の値上がりに価格が追いつかない。
 - ・原材料の値上げが止まらず、その分販売価格を上げていることもあるが昨年より良かった。
 - ・寒さが厳しくなったが晴天続きで、人出もあり買い物意欲も見られた。
 - ・11月は行事がたくさんあったが、各商店の売上に結びついたかは不明である。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0
販売客数	0.0	▲7.1	23.1	▲23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0
販売客単価	13.3	▲28.6	7.7	▲15.4	0.0	0.0	▲7.7	▲16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0
営業利益	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0
見通し	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

郷土料理

・旅行客が増加している。4～5年ぶりに来たと言う方が多い。外国人客も増えている。逆に宴会の予約は少ない。

料理

・昔から11月は漬物の時季で景気が悪いと言われているが、その通りでぱっとしなかった。

食堂

・秋の行楽シーズンも終盤となり、気温のせいが高齢者の出足が減少してきた。そろそろ暇な時期に入ってきた。

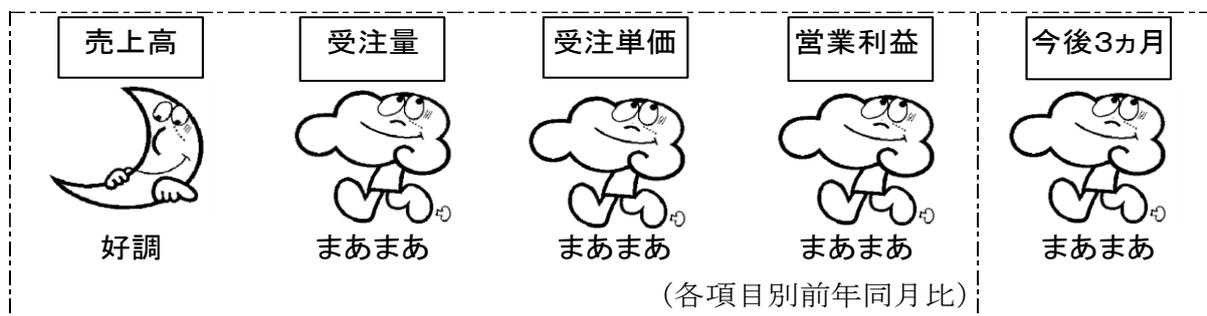
寿司

・タクシーの時間指定予約が受付てもらえない。過去にはなかった現象だ。お客様の帰る直前に電話をすればそれなりに待ち時間が長い。人手不足と聞いているがどの業界も苦労しているようだ。

ラーメン

・材料が値上がりしたので大変である。物価高対策が課題。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0
販売客数	5.4	▲5.2	▲7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6
販売客単価	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4
営業利益	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4
見通し	▲5.4	▲5.2	▲5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア	・昨今、ライセンス費用の高騰する商用アプリサービスを見限り、無償で利用可能な高品質のOSSによる再構築案件が多い。ただ、どうしても上流工程は都内元請け企業が抑えてしまうため、IT技術者のキャリアパスを再考しないと、地方の常駐支援型の現場では育成しにくい。
旅館	・昨年は旅行支援があり宿泊客数も伸びたが、今年は実施している他県に奪われた感じである。
温泉旅館	・忙しい観光シーズンも今月で終わり、来月からはオフシーズンに入る。オフの時にやらなければならないことをしっかりやって来春に備えたい。
観光旅館	・暖かかったせいか、インバウンドを含め入込は増えた。今シーズンは人手不足に悩まされた。来シーズンも大変なことになりそうで対策を考えなければならない。
宿泊	・地域では大変好調だったと思う。なかなか休めないと言う声をたくさん聞いた。
ホテル	・宿泊客数、宴会の数はコロナ禍前に戻ったが、宴会毎の人数は戻らない。
獣医	・獣医師は総合臨床医としてあらゆる疾患を対象としているが、11月は外科手術が多くあった。メスの避妊、オスの去勢はもとより、整形外科、腫瘍摘出、外耳道炎、尿路系(膀胱、尿道の結石除去)、眼科、犬の帝王切開、歯科歯石除去処置など。獣医科は全身麻酔を基本としており、一日に1～3頭の手術をこなした。
ホームクリーニング・リネンサプライ業 タクシー	・冬季の誘客イベントを考えていきたい。 ・観光シーズンであった上高地方面の道路は15日で冬期の閉鎖となりその後は主に市街地での営業となった。昨シーズンより客数は増えた。
不動産賃貸	・変動なし。

